

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日 時：令和2年4月3日（金曜日）10時00分～11時00分

場 所：しおさい会議室

出席者：8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 施設課長 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用者の状況

- ① 入所者の人数 20名（退所2名 入所2名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 6名 ・ 要介護4 14名
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性6人 ・ 女性14人
- ④ 年齢 61歳～77歳 平均 87.7歳

1. 活動状況報告

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 9名（介護福祉士）
- ③ 感染症罹患患者 0名
- ④ 苦情相談 0件
- ⑤ 身体拘束 0件
- ⑥ 介護事故 2月～3月 6件（転倒1件、ずりおち1件、表皮剥離1件、打撲2件、その他1件）
- ⑦ 外出者 0名

- ⑧ ボランティア 1件（書道教室1回）
- ⑨ 特養全体行事 1件（歌の広場1回）
- ⑩ ユニット行事 6件（お誕生会6回）
- ⑪ その他 1件（ふくふく茶屋）

2. 利用状況、介護状況報告

施設長より挨拶：4月より県内の家族の面会制限をなくした。玄関で検温、消毒しユニットへ行ってもらうこととする。しかし島根県内でコロナウイルス発生があった際、対応を変更していく。また、国から施設へマスクが届いたので紹介を行った。

事故報告…想ひ出ユニット1件

転倒：転倒のリスクが高い方。右側を下に転倒されたが外傷等なくお変わりなく過ごされている。

ふる里ユニット5件

打撲：①臥床時、立位不安定にて介助バーに額をぶつけられた。外傷もなくその後もお変わりなく過ごされている。

②右眉上にたんこぶあり。最近ベッドから床に下りられることが多く（一人になることが寂しく皆様のところへ行きたい気持ちがある）、ぶつけられた様子。→居室内マットを敷きつめベッドから降りられても衝撃を緩和できるようにした。

ずり落ち：ベッドから床へずり落ちされる。自力で起きられることがなかったが、元気になられた様子。→引き続き、低床にし、ベッド横にマットを敷いて降りられても衝撃を緩和できるようにした。

表皮剥離：トイレ介助後、左手小指に表皮剥離あり。→皮膚が弱い方なのでこまめに保湿剤塗布とした。

義歯損傷：上義歯（部分入歯）の引っかけ部分と歯茎に当たる部分がかけていた。→泉歯科にて義歯調整した

身体的拘束について

課長より会議録を読みながら説明を行う。

入所者の身を守りすぎて自由を奪ってしまう事がないよう、未然に防ぐことができることは防ぎながら、日々のケアを行っている。センサーマットに関しては、職員が不安や心配という理由でつけるのではなく、入所者に必要なのか否かを見極めてつけている。

3. サービス提供の状況

誕生日会：想ひ出ユニット3件

93歳男性：家族様来所され一緒にお祝い。ケーキ持参され、好きなケーキを選んで食べられた。昔の写真を持って来てもらい一緒に見て懐かしんだ。

94歳女性：仁摩のココットでプリンを購入しユニット皆でお祝い。「おいしいね～」と言い大変喜ばれた。

90歳女性：以前ユニットでふかし芋をした際大変喜ばれた為、お誕生日にて再度ふかし芋を一緒に作り食べた。「嬉しい」と言われ大変喜ばれた。

ふる里ユニット3件

95歳女性 合同で誕生会実施。スイートポテトをユニットで作り食される。

88歳男性 芋をつぶしたりされ「いいですね～」と喜ばれる。大きなスイート

93歳女性 ポテトをペロリと完食された。88歳の方は米寿のお祝いでユニット特製のちゃんちゃんこを着て写真撮影された。

94歳女性：足湯をして（お湯に入浴剤）リラックスして頂く。担当と1対1でゆっくり過ごされ発語もみられた。

61歳女性：若いころお花をされていたので、アレンジメントフラワーをして楽しんで頂いた。ご自分でオアシスに花をさし笑顔も多くみられ嬉し泣きの場面もあった。

4. サービスへの要望、助言、質問等

家族代表：誕生会企画してもらいありがたかった。

地域住民：事故は大田市に報告しているのか。知り合いで軽微な事故でも電話連絡してもらって申し訳ないという話をしていた。

→（施設長）軽微なものは施設長まで報告し、医療受診があった際は大田市へ報告している。しおさいでは軽微なものでも都度、電話連絡や文書で報告をしている。

施設長：コロナウイルスの影響で県外出張、大田市の研修はなくなっている。今は自粛の期間なのだろう。島根県では、1日に30件のPCR検査が可能になった。大阪では緊急事態宣言ができればディサービスやショートステイも閉鎖の要請指示がでるようだ。しおさいも情報収集していく。

市役所：毎日感染者が増えている。島根県も時間の問題と考える。引き続き予防や対策を行って行ってほしい。

課長：入所者は病院などの外出から帰ってきた際は、衣類の洗濯、換気、手指消毒の徹底を行っている。

ユニットリーダー：コロナウイルスの話題が多く、世間が暗くなりがちだが、ユニットで楽しめることや、その人らしくいれるように日々担当を中心に考えていきたいと思います。